

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

	記入日	2018年6月12日
派遣プログラム	■HUSA □USAC □UMAP	
留学先大学	ハンブルク大学（国名：ドイツ）	
所属学部・学科等名	Afrika- Asia Institut Japanologie	
在籍身分	交換留学生	
留学期間	2017年10月2日～ 2018年3月6日	

1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	2016年8月にハンブルク大学のサマースクールに参加し、暮らしやすい街だと感じたからです。また、ドイツ第二位の都市であるため、ドイツ人だけでなく様々な国籍の留学生と関わることができると思ったからです。
留学準備を始めた時期（応募する何か月前ですか?）	約2ヶ月前
事前準備について（どのような準備をしたか、しておけばよかったか）	手続きの面では広島大学や派遣先大学のチューターの方の指示通りに進めました。そのほかは語学の勉強を自分でしっかり行うことが大事だと思います。

2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：学生ビザ
	ビザ申請先：ハンブルクウェルカムセンター
	提出書類：学籍証明書（ハンブルク大学）、保険証明書、経費負担誓約書（日本で取る）
	手続きに要した日数：約一ヶ月
その他必要な事前手続き	大使館あるいは総領事館で経費負担誓約書をもらいに行くこと
出国年月日	2017年9月2日
経路（往路）	マルタ→イスタンブール→ハンブルク
現地での出迎え	■有（大学関係者・その他） □無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	■有（期間：半日 内容：事務的手続きの説明） □無
帰国年月日	2018年3月7日
経路（復路）	ハンブルク→フランクフルト→大阪

3. 留学費用について

支出額	総額	801,0000	円	
	内訳	渡航費（往復）	200,000	円
		ビザ申請手数料	15,000	円
		予防接種費用		円
		保険料	120,000	円
		教材費（授業料以外の学費）		円
		宿舍費（住居費）	200,000	円
		光熱費		円
		食費	180,000	円
		通信費（インターネット・携帯）	6,000	円
		交通費（宿舍ー大学間）	30,000	円
		交際費	50,000	円
その他（ 費）		円		
（ 費）		円		
（ 費）		円		

4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	外国語教育センターによって開講されるドイツ語・英語の授業 1コース90分 規模は20人程度 英語の授業は在生も留学生も一緒に受けるほとんどの授業でプレゼンテーションを課される。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についての アドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	留学前にはリスニング力を鍛えるのが大事だと思います。 ハンブルク大学ではタンDEM（語学交流）が盛んに行われているので日本語学科の授業に参加してタンDEMパートナーを見つけることをお勧めします。
日本と異なる授業形態 などにおける困難や挑戦 （ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など）	聞くスピードも話すスピードも日本とは全く違う上に、お互いに母国語が通じない相手とディスカッションをするので、その国独特の発音のイントネーション等から、最初はお互いの発言を理解することが難しかった。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 20 m ²	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 5人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり 319€	(現地通貨)	約 42,000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮によって暮らし方は様々なので、わからないことは先に入寮しているルームメイトに聞くのが一番だと思います。		
(2) 医療について			

保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 ()
保険の補償内容	補償額 死亡 円、 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 (種類: 回数: 医療機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	学生ビザを取得するためにドイツの国民保険に入ることが義務付けられており、その保険に入っていれば無料で診察を受けることができる。
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	
(3) 危険を感じた地域, 状況, 安全管理において注意したこと	
普通に暮らしていれば特に危険はありませんが、クリスマスマーケット等人が集まるところに行くときには手荷物によく注意したほうがいいと思います。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
外食は高いので基本的に自炊がいいと思います	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
雨の日が多いので、雨や風に強いコートが必要です。私はドイツで買いました。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
ハンブルクは大都市なので基本的に不自由なことはありません。インターネット環境は日本以上に整っていると思います。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
日本学科の授業にサポーターとして参加し、そこで知り合った学生とタンデムを行いました。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等, 注意すべきこと	
思ったことは素直に伝えるといいと思います。	
(9) 日本から持っていくべきもの, 持っていくべきでないもの	
個人的にお茶パックを持って行ってよかったです。	

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

6. 帰国後の進路について	
卒業予定年月	2019 年 3 月 (当初の卒業予定年月 2019 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	一般企業への就職希望のため、就職活動を継続中です。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	単位互換に失敗しないために、私は留学前に必修単位はなるべくとっておきました。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

8. 後輩へのメッセージ
留学生活はほんとうにあっという間なので日々を大切にしてください。

9. 自由記述 (1,200 字程度)

留学を終えて、その期間の短さに驚いています。はじめの数ヶ月は環境に慣れるのに精一杯で、ようやく慣れてきた頃にはもう折り返し地点だったように感じます。留学中は日常が非日常で毎日刺激に溢れた生活でした。

留学中最も印象に残っているのは大学の授業風景です。授業内容においても、学生の授業への参加の仕方においてもとても刺激を受けました。私がサポーターとして参加していた日本学科の授業は特に印象的でした。ある授業では、日本語で「文化」とは何かについて学生が日本語でディスカッションを行い、グループごとにプレゼンテーションを行っていました。内容が抽象的で母国語でも説明が難しい内容であるにもかかわらず、学生たちは授業中ドイツ語を使うことなく、自分の意見をどうにか伝えようとしていました。日本学科の授業だけではなく、他の授業も学生主体の授業で、学生自身の積極性が求められるものが多かったように感じます。それに対して学生も、特定の人物にあまり偏ることなく、全体的に挙手して発言していました。授業は与えられるものではなく、自分で考え、それによって吸収してくものだと考えが改められました。

留学前と比較して自分が成長した点は、できないことに恥ずかしがらず、まず挑戦してみることができるようになったという点です。留学期間中、日本にいるときよりもかなり多くのわからないことやできないことに出会いました。最初は、自分ができないことを認めたくない気持ちが強く、できないことを避けて通ろうとしていました。しかし、授業のディスカッションの中で一度素直に分からない、とたずねてみたところ親身になって一緒に考えてくれました。できないことを認めたくないという意地を張るよりも、それを素直に一度受け入れることで、自分と向き合うことができるようになりました。自分は何ができて何ができないかをしっかり考える中で、自分が今何をすべきなのか、何をしたいのかということも自然と見えてきました。それによって、自分を守るよりも、新たなことに挑戦し、新しい何かができるようになること、新たな自分の一面見出すことの面白さに気付きました。それらの発見から、怖気づくことなく、新たなことに積極的に取り組めるようになったことが一番の私の成長です。

私は将来的に、確実に海外に行く予定があるというわけではありません。しかし、留学を通して身についたのは、語学力だけでなく、コミュニケーション能力や、順応力、挑戦する力など、海外にいたとしても日本にいたとしても活かせる力だと思います。今後の生活において、私はどの道に進んだとしても、探究心を持って挑戦し続けられる人間でありたいと思います。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。